



古代エジプト の ヒエログリフ

初級実践ガイド

A step-by-step
approach to
learning ancient
Egyptian
hieroglyphs

ジャニス・カムリン 著
齋藤 久美子 訳

グスタヴォ・キャンブス イラスト

文車書院

古代エジプト の ヒエログリフ

初級実践ガイド



ジャニス・カムリン 著
齋藤 久美子 訳

グスタヴォ・キャンプス イラスト

文庫書院

●著者紹介

ジャニス・カムリン ペンシルヴェニア大学にてエジプト考古学の博士号を取得。ペンシルヴェニア大学、ヴィラノヴァ大学、カイロ・アメリカ大学にて教鞭を取る。一般の聴衆に対し、古代エジプトについての多くの講義を行っている。現在、エジプト考古最高議会事務局長ザヒ・ハワス博士による多くの出版に携わっている。遺跡の保存と維持を目的としてエジプトの地図を作製している SCA および EAIS マッピング・プロジェクトの顧問を務める。

●訳者略歴

齋藤久美子 早稲田大学文学研究科博士後期課程単位取得退学。日本学術振興会特別研究員（2003年～2006年）。現在、早稲田大学エジプト学研究所客員研究員。

古代エジプトのヒエログリフ 初級実践ガイド

2011年1月25日 第1版第1刷発行

著者 ジャニス・カムリン

訳者 齋藤久美子

発行所 文書書院

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-48 カトウビル4F

電話 03(5282)2821

FAX 03(5282)2822

印刷所 広研印刷株式会社

ISBN 978-4-902604-09-2

定価はカバーに表示してあります。落丁・乱丁本はお取り替えます。

Printed in Japan

目 次

訳者まえがき	3
謝 辞	8
はじめに	10
 第1章：エジプト語のアルファベット	14
第1課：文字の区分	14
第2課：翻字 ^{ほんじ} と発音	16
第3課：エジプト語のアルファベット	18
第4課：文字の配列	28
第5課：人や神のエジプト語の名前	31
第6課：決定詞と形容詞	32
第7課：接尾代名詞 ^{せつびだいめいし}	36
第8課：両数 ^{りょうすう} と複数	41
第9課：非動詞文 ^{ひどうしぶん} （動詞の無い文）	42
第10課：動詞文	44
 第2章：アルファベットの次に	47
第11課：2子音文字	47
第12課：所有の表し方	51
第13課：敬意を表す倒置 ^{けいいとうち}	53
第14課：分詞と関係形	56
第15課：2子音文字をもう少し	59

第16課：2子音文字をさらにもう少し	60
第17課：3子音文字、4子音文字、それ以上の子音を持つ文字	62
第18課：多子音文字をもう少し	65
第19課：慣用句	67
第20課：東西南北	73
第21課：場面の説明書き	76
 第3章：王の名前と称号	80
第22課：王の名前についての予備知識	81
第23課：初期王朝時代の王の名前	82
第24課：古王国時代	86
第25課：第1中間期と中王国時代	90
第26課：第2中間期と新王国時代	93
第27課：新王国時代以降	99
第28課：王の治世年	102
第29課：いろいろな時代の王の記念物	106
 第4章：称 号	115
第30課：王妃、王子、王女	116
第31課：宮廷における役職の称号	120
第32課：行政職の称号	121
第33課：聖職者の称号	129
第34課：記念物に見られる称号と親子関係を表す記述	133
 第5章：祈りの言葉	143
第35課：基本的な供養文	146

第36課：供養文に出てくる神々	147
第37課：ホルスの4人の息子	149
第38課：言葉による ^{くもつ} 供物	152
第39課： ^{さいし} 祭祀の受け手	156
第40課：供物リスト	165
 第6章：もっと読んでみよう	175
第41課：不定詞を使った説明書き	175
第42課：命令形	185
第43課：引用の表し方―ジェド・メドゥ	189
 第7章：力だめし	196
第44課：神殿、墓、 ^{ひつき} 棺	197
第45課：ハルクフ（またはヘルクゥフ）の自伝	207
第46課：カデッシュの戦い	217
 おわりに	224
付 記	228
付記A：練習問題の解答	228
付記B：代名詞一覧	253
付記C：文字検索リスト	254
付記D：文字リスト	260
付記E：単語リスト（エジプト語から日本語）	292
 訳者あとがき	308

古代エジプト の ヒエログリフ

初級実践ガイド

ジャニス・カムリン 著
齋藤 久美子 訳

グスタヴォ・キャンプス イラスト

文車書院

イデヒエカ古

の

てじくコエ

サト★異字新録

古 じひ山家・天竺寺

同 孝聖公・福壽

（大略） 尼子氏・寺田氏

Copyright ©2004 Janice Kamrin

First published in the English language in 2004

by Harry N.Abrams Inc., New York

Original English title: Ancient Egyptian Hieroglyphs

(All rights reserved in all countries by Harry N. Abrams, Inc.)

Japanese translation rights arranged with Harry N. Abrams, Inc., New York

through Tuttle-Mori Agency, Inc., Tokyo

訳者まえがき

本書は、博物館や遺跡を訪れた時に、目の前にあるヒエログリフを少しでもよ
いから読んでみたいという人にお薦めです。原書を手に取ってパラパラと見た時
に、これは良い本だと思いました。何が良いかというと、カイロ、エジプト博物
館の所蔵品を多く扱っていることです。エジプト好きが高じてエジプトに旅行に
行ったとしたら、遺跡だけではなくカイロにある博物館も必ず訪れるでしょう。
この本で勉強したそのままの碑文でも、遺物の実物を目の前にしてそこに書かれ
ているヒエログリフを理解できれば、古代エジプトの世界をぐっと身近なものに
感じることができます。また、練習問題に、遺物のカラー写真を見ながらヒエロ
グリフを読んでいく問題が多くあるところも良い点です。印刷用に作られたヒエ
ログリフの文字ではなく、遺物に書かれたヒエログリフを読むことで、実物を見
ながら読む実践力を養うことができます。

さらに詳しく本の内容を見てみると、文法の説明が少なめで、よく目にする表
現や慣用句から覚えていくところも気に入りました。旅行に行く前にちょっと英
語を勉強しようと思った時に、文法書に最初から取り組むのではなく、トラベル
英会話の本ですぐに役立ちそうな表現を覚えるのと似ています。碑文の一部でも
自分の力で読むことができれば、ヒエログリフのことも古代エジプトのこともさ
らに知りたくなるはずです。

古代エジプトのヒエログリフに興味がある人が手始めに読んでみるのにちょ
うど良いレベルの本だと思います。この素晴らしい本を日本の皆さんにも読んで
いただきたいと思います。この本を手には、ヒエログリフが読める楽しさ
を是非味わってみてください。

目 次

訳者まえがき	3
謝 辞	8
はじめに	10
 第1章：エジプト語のアルファベット	14
第1課：文字の区分	14
第2課：翻字 ^{ほんじ} と発音	16
第3課：エジプト語のアルファベット	18
第4課：文字の配列	28
第5課：人や神のエジプト語の名前	31
第6課：決定詞と形容詞	32
第7課：接尾代名詞 ^{せつびだいめいし}	36
第8課：両数 ^{りょうすう} と複数	41
第9課：非動詞文 ^{ひどうしぶん} （動詞の無い文）	42
第10課：動詞文	44
 第2章：アルファベットの次に	47
第11課：2子音文字	47
第12課：所有の表し方	51
第13課：敬意を表す倒置 ^{けいいてうち}	53
第14課：分詞と関係形	56
第15課：2子音文字をもう少し	59

第16課：2子音文字をさらにもう少し	60
第17課：3子音文字、4子音文字、それ以上の子音を持つ文字	62
第18課：多子音文字をもう少し	65
第19課：慣用句	67
第20課：東西南北	73
第21課：場面の説明書き	76
 第3章：王の名前と称号	80
第22課：王の名前についての予備知識	81
第23課：初期王朝時代の王の名前	82
第24課：古王国時代	86
第25課：第1中間期と中王国時代	90
第26課：第2中間期と新王国時代	93
第27課：新王国時代以降	99
第28課：王の治世年	102
第29課：いろいろな時代の王の記念物	106
 第4章：称 号	115
第30課：王妃、王子、王女	116
第31課：宮廷における役職の称号	120
第32課：行政職の称号	121
第33課：聖職者の称号	129
第34課：記念物に見られる称号と親子関係を表す記述	133
 第5章：祈りの言葉	143
第35課：基本的な供養文	146

第36課：供養文に出てくる神々	147
第37課：ホルスの4人の息子	149
第38課：言葉による ^{くもつ} 供物	152
第39課： ^{さいし} 祭祀の受け手	156
第40課：供物リスト	165
 第6章：もっと読んでみよう	175
第41課：不定詞を使った説明書き	175
第42課：命令形	185
第43課：引用の表し方―ジェド・メドゥ	189
 第7章：力だめし	196
第44課：神殿、墓、 ^{ひつき} 棺	197
第45課：ハルクフ（またはヘルクゥフ）の自伝	207
第46課：カデッシュの戦い	217
 おわりに	224
付 記	228
付記A：練習問題の解答	228
付記B：代名詞一覧	253
付記C：文字検索リスト	254
付記D：文字リスト	260
付記E：単語リスト（エジプト語から日本語）	292
 訳者あとがき	308

謝 辞

本書の大半は、エジプトとアメリカ合衆国の友人や同僚たちの助けを借りながら、エジプトで書きました。私は、私に初めてヒエログリフをご教授くださり、当初から私を励まし、支え続けてくださっているザヒ・ハワース氏に感謝します。エジプト学とエジプトに対する彼の情熱と献身を尊敬し、彼の変わらぬ寛大さ、友情に深く感謝しています。また、ブルニー・リッジウェイ氏－彼女の考古学に対する熱意と活力にいつも影響を受けています－と、デイヴィッド・オコナー氏－彼の博識と指導はこの上もなく貴重なものでした－に、感謝したいと思います。我が言語学の師であるデイヴィッド・シルヴァーマン氏には、本書の実用性を考えて、彼が教示された重要な文法的教訓のいくつかに触れていないことを申し訳なく思います。

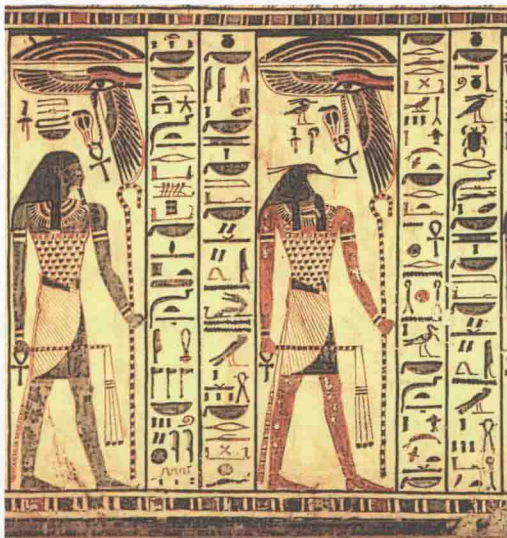
サリマ・イクラム氏は、本書の執筆を通してあらゆる面において私を助け、励ましてくれました。彼女の友情と支えは非常に貴重なものです。リサ・サッパヒ氏の経験と専門知識は本書を今の形に仕上げるために大変重要なものであり、彼女の惜しめない助言がなければ、私はやり遂げることができなかったでしょう。大学院生時代から私のあらゆる重大な人生の危機を、友情により切り抜けさせてくれたジャネット・リチャーズは、今回も見事に姿を現し、危機的な状況の時にエジプトにやって来て、この原稿を読んで編集することに彼女の貴重な時間を費やしてくれました。ジェニファー・ウェグナーは、彼女自身の仕事と彼女のかわいいベビーから寛大にも時間を割いて、私の仕事の最後のチェックをしてくれ、また、ホレイル・ガリィ博士は、彼の忙しいスケジュールから時間を割いて、原稿をジェニファーに届けてくれました（これは容易なことではありません）。いかなる誤りも表記のミスも全て私の責任です。

私の「本の会」の仲間にも感謝します。彼らの意見は、校正に対する意見か

ら、改良をうながす重要な提案まで、重要な局面で役立ちました：ケネス・ギャレット、ケリーとマイケル・ゾーグ、クリスティン・エンド、イアン・ブライアー、および、ピーター・フィスク。本の表紙と図版のひとつの原図として、彼の素晴らしい写真の一枚を、我々に使わせてくれたケンに、さらなる、そして心からの謝意を表します。母とオードリー、私の原稿の草稿を読み通してくれてありがとう。そして、無くてはならなかった、とても楽しい休暇を父に感謝したいと思います。フィリス、イライジャ、マイケル、次は是非私を訪ねて来てください。

ハリー・N・エイブラムス社のエリック・ヒメル氏は、当初から本書の価値を信じてくれていました。彼無しには、この本は存在しなかったでしょう。ありがとう、エリック。出版の急流を乗り切れるよう、私たちの舵取りをしてくれた、サマンサ・トボルとデボラ・アーロンソンにも感謝します。

最後に、しかし最大に、私の永遠の感謝を私の家族に捧げます。本書全体のイラストとデザインを担当し、私だけのヒエログリフのフォントを作ってくれた、我が夫、グスタヴォと、一緒に遊ぶ代わりに「わけのわからないことをぐずぐず」としているママに我慢してくれた、オマールへ。2人の忍耐と理解に感謝します。



はじめに

古代エジプトのヒエログリフは、これまでに生み出されたもっとも優雅な書体のひとつです。ヒエログリフは、主に記念建造物の碑文^{ひふん}に使われ、墓や神殿の壁に丁寧に、細部まで精巧に刻まれ、鮮やかに彩色されていました。また、彫像^{ちようざう}、供物卓^{くもつたく}、ステラ（石や木の板）^{ひつぎ}、棺などに記されることもありました。鳥、魚、人、植物、バスケット、建物の一部など、さまざまなものが、小さな物から大きな記念物までを飾りつくし、装飾性を高め、それを読める人々には明らかなメッセージを伝えていました。すばらしい博物館の展示品を見て回る時、また、幸運にも実際にエジプトを訪れた時、こうした碑文を読むことができれば、あなたはより豊かな体験をすることができるでしょう。

この本を読むことで、例えば前の頁に見られる、カイロ博物館にある棺に書かれている碑文のような、さまざまな碑文を読むために必要な知識を得ることができます。この本を最後までやり通すことができたなら、あなたは、ある墓に入った時、そこに埋葬^{まいそう}された人々の名前を読んだり、さらには墓主^{ぼしゅ}の生前の活動が分かったりするようになるかもしれません。また、壁一面に描かれた壁画の説明文、例えば、そこに描かれている活動を説明したものや、牛の屠殺^{とさつ}をしたり、沼地で漁をしていたり、ボートを作ったりしている労働者が、お互いに交わしている冗談や警告の言葉などを、読むことができるようになります。この本を勉強し終えるまでには、エリート^{じじょうでん}の墓に記されている自叙伝（墓主が、文字の読める通りがかりの人に、人生の中で最も重要だった出来事を語りかける興味深い物語）の一部を読むことができるようになります。神殿では、神々の名前が簡単に分かるようになり、古代の王たちの長い王名表をじっくりと調べたり、王と神々の対話を読んだりすることができるようになります。

古代エジプトの人々は言葉あそびが好きで、彼らの芸術作品は、書き言葉と結

びついたシンボリズムにあふれていました。エジプトの美術には付加的な意味が多く組み込まれていて、ヒエログリフを理解することでそれが分かるようになることでしょう。言語は精神に向かって開く窓とも言われており、ヒエログリフの基礎を習得すれば、世界最古の文明を創り出した並外れた人々に対する理解を何百倍にも膨れ上がらせることができるでしょう。

エジプトのヒエログリフは紀元前3250年頃に初めて現れました。ヒエログリフはもともと、名前を書いたり、さまざまな日用品にラベルを付けたりするために使われていましたが、まもなく、歴史的出来事を記録することができるまでに発達しました。最古の複雑なヒエログリフの文は、古王国時代初期、紀元前2600年頃に現れました。この言語には大きく分けて、古エジプト語（紀元前2600年から2100年頃）、中エジプト語（紀元前2100年から1300年頃）、新エジプト語（紀元前1500年から600年頃）の3つの発展段階があります。新エジプト語は、新王国時代（紀元前1500年頃）には話し言葉として使われ始めていたようですが、記念碑に記されるヒエログリフの文にはめったに使われることはなく、多くの場合、中エジプト語が王朝時代を通じて使われ続けました。（訳者注：つまり、話し言葉が変わっても記念物の碑文では古典的な中エジプト語が使われ続けたのです。）

この本では、あなたが博物館やエジプトの遺跡を巡っていて目にすることになる、よく使われる文字、単語、名前、慣用句^{かんようく}を中心に扱います。ここであなたが学ぶことのなかで重要なのは、パターンを認識する力をつけること、つまり、まずは碑文の慣用的な表現の部分を見極め、続いて、名前や称号のようにテキストごとに異なる具体的な部分を訳すために、より詳細なヒエログリフの知識を使うことができるようになることです。勉強を進めるにつれて、中エジプト語の基本的な文法も学ぶことになりますが、複雑な説明は省き、必要なことだけを教えていきます。エジプト語の各発展段階の違いをあまり気にすることはありません。なぜなら、この本で勉強する中エジプト語の知識があれば、どの時代の記念物の碑文の意味も、だいたい理解できるからです。